

H25.6.15(土)

ウォーキング振興策論議

湯梨浜で日本マーチングリーグ総会

全国18のウォーキング大会で構成される日本マーチングリーグ（宮下充正会長）の総会が14日、湯梨浜町旭の水明荘で開かれた。同リーグの総会開催は鳥取県では初。北は北海道、南は沖縄県のウォーキング大会の関係者ら約30人が集まり、本年度の事業計画などを話し合った。

リーグは1989年に発足し、全国各地のウォーキング大会の振興を図っている。約1万2千人のウォーカーがリーグのパスポートを所持して各大会を巡っている。

昨年の総会で、鳥取県中部地区で開かれる「SUN-IN未来ウォーカー」（NPO法人未来、新日本海新聞社など主催）のリーグ加盟と、同地区での総会開催が決定していた。この日の総会は宮下会長の「活発な議論をしてほしい」とのあい

さつで開会。本年度の事業計画や予算などを

オーキング協会の井上成美常務理事からはインターネットなどを活用して情報発信力を強化や参加者の拡充を図ることも提案された。



日本マーチングリーグの総会に集った各ウォーキング大会の関係者ら14日、湯梨浜町旭の水明荘